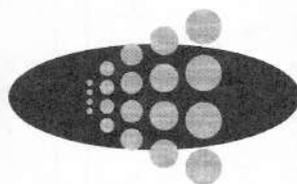


躍進

Y A K U S I N

株式会社 加藤組 社内報「躍進」
発行日/平成13年1月1日
男鹿市脇本脇本字向山18-6
TEL 0185-25-3001(代) FAX 0185-25-2234

No.29



KATO

光飯商事株式会社
日本アスコン株式会社
秋田建設運輸株式会社

いよいよ21世紀



あけまして

2001年 元旦



おめでとうございます

年頭所感



代表取締役社長
加藤 義光

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

21世紀を迎え、経済のグローバル化、インターネットに代表される情報化の急速な進展は、この先もさまざまな要素を絡ませ、進んでゆくものと思います。

また、財政再建が始まり「小さな政府づくり」を展開することによる公共投資の大幅な縮小が予想されます。この様なとき、社内ではコンピュータによるネットワークの構築や品質管理における、国際基準ISO9001の取得に取り組んでおります。

建設産業は国の経済活動の根幹をなす社会基盤整備の重要な役割を担う基幹産業であり、まだまだ都市圏に比べそのインフラ整備が進んでおらず、今こそ技術の研鑽に努め、社員一人ひとりの英知、勇氣、情熱を持って難局を乗り越えていかなければならないと思います。

本年も一層のご努力をされまして、明るい一年でありませう。心から祈念致し挨拶と致します。

平成十三年度 (株)加藤組 基本方針

「21、絶えまない技術革新と信頼性を確立し」

インフラ整備推進のビジネス基盤強化を図ろう」

平成十三年度 安全スローガン

一、安全施工サイクルを確実に実行し

職場からヒヤリ・ハットを追放しよう

一、シートベルトを完全着用し、

常にゆとりある運転に徹し

交通事故の撲滅に努めよう

ゼロ災を目指して

安全衛生委員会 議長 鈴木耕一



従業員の皆様、そしてその一人ひとりを温かく支えてくださっております御家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご存知のように我々が従事する建設産業は、国民生活や産業活動の基盤となる重要な役割を担うと共に、我が国の国民総生産(GNP)の約2割を占める基幹産業でございます。そこには全国で五十余万の企業があり、六百万人強の人々が働いているといわれます。価値ある多くの文化遺産を創造し、21世紀における豊かさゆとりある生活を目指す我が国にとって、その担い手である建設産業は益々重要な産業といえるでしょう。その建設産業を支えているのは、まぎれもなく「人」なのです。とりわけ建設現場で働く人々が、重要な役割を担っていることはいまでもありません。しかし、近年、若年層の人口減少などに伴う建設労働人口の不足が、建設産業の課題の一つとして挙げられております。また近年、労働災害においては長期的に減少傾向にあるといわれておりますが、依然として死亡者数は全国で約800名と、全産業に占める死亡災害の比率が40%を示す高い割合となっているのです。この現実を打開し、減少傾向を定着させるためにも災害防止の諸活動が益々重要な課題となつて参ります。

当社と致しましても、究極の目標は「ゼロ災達成」にあるのです。「労働災害を防止するためのルールは、守り、守られるためにある」ということを職場内に浸透させ、またその一方で、「ルール違反が起こる危険性は常にある」ということを前提において、安全衛生管理を推進してゆく所存でございます。このようにゼロ災を目指すためには、ハイリッヒの法則にいわれますとおり、300のヒヤリ・ハットに対して、軽傷が29人、重傷が1人というデータがあり、見過ごされるような小さな事例に対しても重大事故が起こる可能性は必ずあるという危機感を、全従業員に強く認識してもらわなければなりません。また、実践的活動である始業前ミーティング、始業前点検、指差呼称を含めたKYK、作業手順に従った安全作業の遂行並びに安全施工サイクルの遵守と確認。そして、現場代理人による毎日の巡視、定期的に実施される安全衛生委員並びに社内幹部による安全パトロールの励行で、安全の最終目的であるヒューマンエラー及び不安全設備の事前排除を完遂することでゼロ災を達成することが可能と断言できるのです。その為には従業員一人ひとりのため努力が必要ですが、御家族の方々の愛情あふれる心の支えもまた不可欠なのです。「企業は人なり」の強い人間的信頼関係の絆と新年の開眼こそが、21世紀の建設産業の安全哲学を構築するものと確信致します。

最後になりましたが、従業員各位の益々のご健勝と、さらなるご発展を祈念しつつ、ペンを書かせていただきます。ありがとうございました。

新年の抱負

新たな年、21世紀を迎えて。



土木部次長 伊勢谷 寿

新年明けましておめでとございます。2001年、いよいよ21世紀の幕開けとなりました。昨年を振り返りますと、建設業界は乱世にあり、選別と淘汰の時代に入っているとわれ、公共工事の削減、工事単価の圧縮等、本当に大変な一年だったと思います。また、携帯電話やパソコン等、IT(情報技術)関連の活用が加速し、インターネットが急速に普及するなど、我々を取り巻く環境は、ここ数年で目まぐるしく変化して来た様に実感します。さらに、ISO9000Sや建設CALISが登場し、これらを取得し導入することが不可欠となってきました。我々でも今年半ばをめぐりにISO9001の取得に取り組んでおりますが、これには全社員の協力と理解がなければ難しいと思います。この様な時代の流れの中で、社内ではパソコンの導入が充実し、今後いかに有効に活用できるかが、一つの鍵と言えるのではないのでしょうか。今まで培ってきた個々の技術力と営業力をフルに発揮し、平衡を図り、社員一丸となってこそこの逆境をはね返し、21世紀のスタートに弾みをつけられるものと確信します。



日本アスコン(株) 中野 恵美子

早いものでアスコンに移ってからもう4年目になる訳ですが、仕事の内容も手作業から電算業務へと変わりつつあります。初めのうちは電算業務へ対し、見るもの聞くものすべてが新鮮で戸惑いの連続でした。今ではある程度、仕事と気持ちに余裕が出てきましたが、金銭を取り扱う関係上、緊張や戸惑いが毎日のようにあり、その度に、相談できる上司・同僚に励まされ心強く感じました。これからの仕事の内容も電算での業務が増えてくると思います。まだまだ皆さんにご迷惑ばかりかけていますが、今後も初心を忘れず、仕事に精進していきたいと思っておりますので、よろしくご指導お願い致します。



総務部 滝城 佳菜子

社会人になって8カ月程たちましたが、「働く」ことの大変さを実感している所です。振り返ると、とにかく失敗の連続でしたが、皆さんのご指導のおかげで、ここまでこれました。まだまだ、日々勉強中といったところですが、これからもよろしく願います。

さて新年の抱負は、「やれることはその日のうちに」です。いつも思うのですが、この性格ゆえ、毎回実行できずに後回しにしていました。今回は、仕事をやるにあたり、とても大切な目標ではないかと思えます。

この目標を実行できるよう、気合いを入れて新しい年もがんばろうと思えます。



OAシステム課 鈴木 貴範

今年に入って、加藤組に勤めてから10カ月になりました。月並みな表現になりますが、もうそんなになるのかという感じがします。数カ月前にも似た様なものを書きましたが、今回は新年の抱負を語るよう依頼されてしまいました。学生の頃は宿題などで書いていましたが、何を書いていたのかは思い出せません。実際、前回とは違う、こういった作文を書くのは久しぶりだと思います。前置きはさておき、今年一年の抱負といえば、「経験値を上げる事」であります。しかしこれは今年に限らないので「新たに何かの技術を身に付ける」というのをつけ加えたいと思います。身近なところで取りたい資格が一つあるので、それを目標に頑張りたいと思います。

表彰された方々

永年勤続表彰者

●20年 栗森 吉照さん

米屋 真一さん

伊藤 満さん

沢田 庄市さん

鈴木 頼男さん

●10年 伊勢 喜久仁さん

小熊 憲史さん

安全表彰者

中嶋 秀樹さん

菅原 直人さん

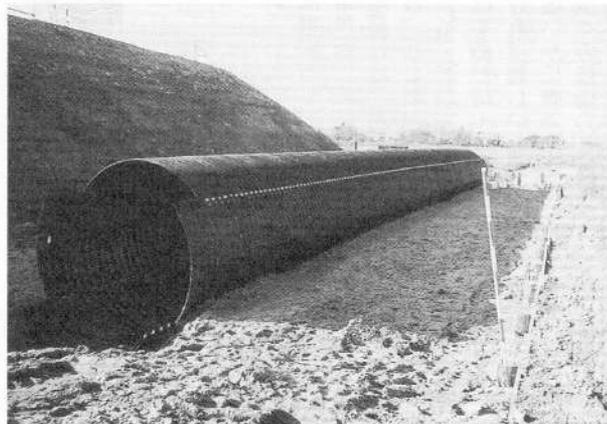
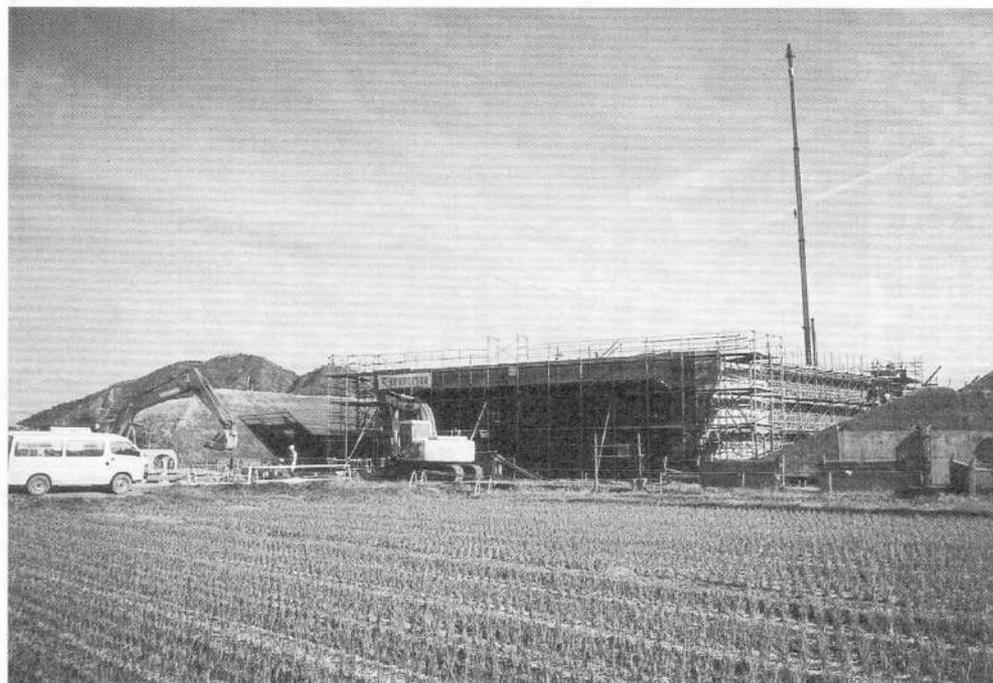
吉田 義典さん

おめでとうございませう。

これからもどうぞ健康を

お祈り申し上げます。

現場レポート



工事場所 南秋田郡五城目町大川
工期 平成12年3月1日～
平成14年1月19日

日本海沿岸東北自動車道 五城目南工事



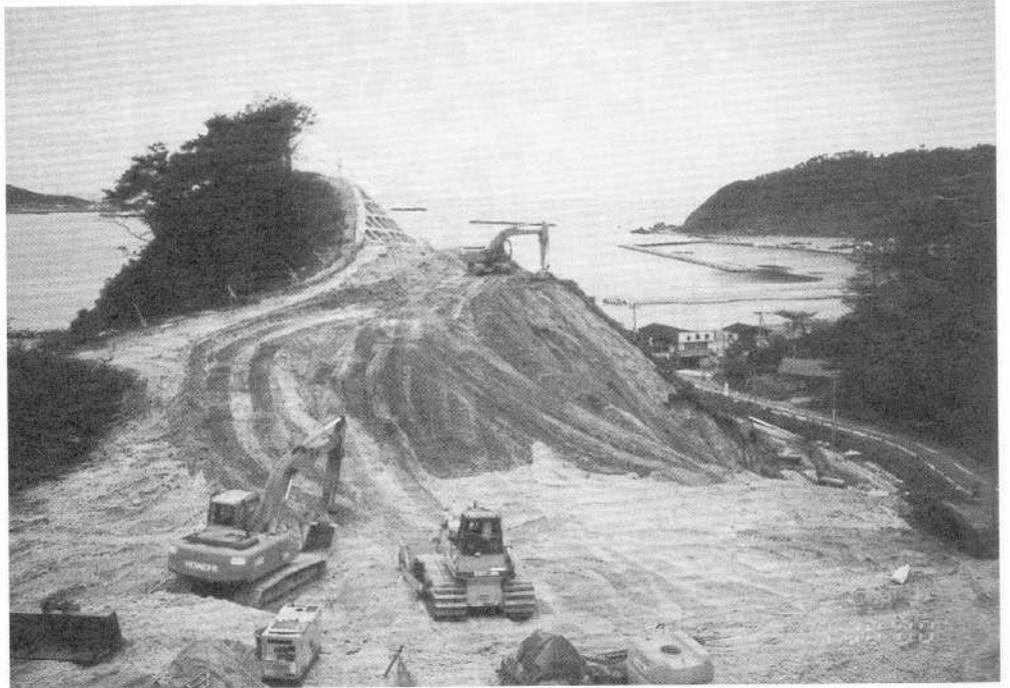
土木部課長
秋本 純巧

現場は、五城目町にある森山の裾野、馬場目川のそばにあります。発注者、日本道路公団東北支社の工事であり、元請の株式会社新井組の下請負工事として、加藤組が昭和男鹿半島IC～五城目ICまでの間でボックスカルバート8箇所、パイプカルバート9箇所、橋台2基の請負工事です。平成12年8月から工着手し、12月までボックスカルバート5基を完成し、同時にパイプカルバートの施工も6箇所に着手しなければならず、4ヵ月程の期間でボックスカルバート5基の完成は厳しいものがありました。しかし、下請協力会社の協力で平成12年分の工事は無事完了致しました。平成13年の工事は、1月から国道285号線を挟む橋台2基の施工で、冬期間の厳しい工事になることは間違いありません。残るボックスカルバート、パイプカルバートを含めて、21世紀を迎え、無事故で工事を完成することは言うまでもありません。

新しい世紀を迎え、謹んで新春のお慶びと皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

現場レポート

緊急地方道 整備工事



工事場所 男鹿市戸賀
工期 平成12年7月～
平成13年3月



土木部係長
原田 康文

新年あけましておめでとうございます。さっそくですが当工事の概要について説明したいと思えます。当工事は、野山を切り開き新しく道路を作る工事の一部分で、工場場所は戸賀の急な坂を降りた左側です。みなさんも戸賀に來られた際には、御目にかけていただけることと思われます。主な工事の種類は、掘削工約3万3千立米、法枠工約2千6百平米、アンカー工約6百本です。平成12年7月から工事を開始し、平成13年3月に完了する予定で、現在は、受注工事の90%を完了しております。

工事を開始するに当たっては、二つの危惧される点がありました。一つ目は、足場が狭く重機が転落する危険がある事。二つ目は、大型ダンプの数が多いので、一般車両等に迷惑をかける恐れのある事です。これらの問題を何とかクリア出来たのも、社内の安全管理体制、土木部のバックアップ体制等の元に、協力会社と一致協力し、地道に安全の活動を行った結果であると思われます。

最後になりましたが、戸賀地区住民のみなさまには、御協力に対して心から感謝すると共に、地域の為の工事である事を忘れず、スタッフ一同がんばっていききたいと思います。

第28回

76チームが熱戦を繰り広げた 加藤杯争奪全県選抜柔道大会

第28回加藤杯争奪全県選抜柔道大会は、去る9月15日、男鹿東中体育館で高校、中学の男女とスポ少の5部門で団体戦が行われ、76チーム・441名の選手が熱戦を繰り広げました。



当日は午前9時より開会式が行われ、加藤義孝大会会長、夏井昇吉名誉会長の挨拶に引き続き、試合が開始され、日頃鍛練した技の応酬で満員の体育館には応援の父母や、控え選手たちの大きな歓声が響き渡っていました。

今年シドニー五輪で田村亮子選手をはじめ、日本柔道の活躍が目立ちましたが、近い将来、加藤杯で活躍した選手がオリンピックで金メダルを獲得するという夢をぜひ実現してほしいものです。

各部門の優勝チームは、次の通りです。高校男子は秋田が7年ぶり10度目、同女子は能代が初、中学男子は土崎が10年ぶり8度目、同女子は男鹿東が初、スポ少は平成館西村塾が2年ぶり2度目の優勝を飾りました。



安全標語 受賞者発表

金賞

気象が変われば現場も変わる

日頃の手順見直しして 改善工夫で事故防げ

小野俊剛

銀賞

すぐ直そう、あなたの回りの小さな危険

そこから始まる快適職場

中嶋秀樹

危険箇所すばやく手直し も一度確認

皆へ知らせて無事故の職場

伊藤鉄哉

銅賞

安全を生産してゆく加藤組

ヒューマンエラーの永久追放

杉本恭子

作業中いかなる危険も見逃すな

一声かけて安全作業

登藤信悦

めざせゼロ災 会社の使命

笑顔で迎える 新世紀

伊東俊博

現場に潜む災害の芽、みんなで探して掘り起こし

安全チェックでゼロ災害

夏井直弥

朝の点検を引き締めて

注意しよう終業前の気のゆるみ

渡部邦明

《ボウリング大会》

今年も燃えました！



去る9月29日、レクリエーションとして毎年恒例(?)になりつつあるボウリング大会が行われました。場所はユナイト、金曜日の夕方からとあって気分は解放的で、多数の参加者で賑わいました。また、今回は藤和会の協力会社からも多くの参加を得る事ができました。

絶対調に盛り上がりました。爽やかな汗を流した後は待つてました！の懇親会。ペコペコのお腹にのこしい料理とビールは五臓六腑に染み渡ります。そして順位の発表と抽選です。今回は高額商品がたくさんあった為、結構本気で狙っている様でした。

普段、現場の方々となかなか話す機会がない為この様な催しはとても楽しみにしています。またの開催を心待ちにしております。

結果発表！！

名 前	スコア	名 前	スコア
1位 小玉 哲美 (天喜建設)	369	6位 高桑 広貴	302
2位 伊藤 新次郎	332	7位 加藤 敏雄	295
3位 夏井 直弥	321	8位 佐々木 巧	289
4位 石井 光夫	319	9位 佐藤 諭 (佐藤園)	286
5位 杉渕 三男	314	10位 伊東 俊博	282



協力会総会

去る12月22日に協力会総会が行われました。総会に先立って、物故者供養を行いました。総会においては、永年勤続表彰、安全表彰を行いました。表彰者はP3の通りです。また「安全標語」の入選者には、記念品が贈られました。また、議事に入り議長に会長を選任し、平成十二年度事業報告、平成十一年度収支決算、平成十二年度収支計算、平成十三年度収支予算の順に議事が進行し、満場一致で可決されました。その後きりん亭において懇親会が行われ、一年の労いをし、楽しい年末の夜を過ごし来年の安全を誓い終了しました。

退職者・新規採用予定者

お世話になりました。そして、これからよろしくお願いします。

退職者

夏井 勉さん

高森 和兄さん

新規採用予定者

佐藤 洋幸さん
(八戸工業大学)

佐藤 紀行さん
(秋田工業高校)

My Family

私の家族を紹介します!

土木部 内田 透

我が家は父、母、妻、長男、次男の6人家族です。長男・悠斗は、幼稚園の年長で毎日元気に園バスで通っています。週に1回のエレクターにも通ってレッスンをしています。がなかなか上達せず困っています。次男・健斗は2歳になりました。言葉をしやべるようになりました。私が帰宅すると兄弟二人と戦いごっこが始まり、いつも悪者役は私で、仮面ライダーやウルトラマンになって、くつろいだり、新聞を読んでいる間もなくやられています。

男の子二人とあって毎日妻も大声で怒っていますが、父や母、私達も息子達の成長を楽しみにしています。



太田健一さんの愛犬
ブルー



やさしい
ご主人様よ



編集後記

いよいよ21世紀、新しい100年の始まりです。かといって別段改まった感じを受ける訳でもありませんが、今年の正月休みは例年より何日か長いので、身近なことから何年か先のことまで、目標をゆっくり考えてみるのもよいでしょう。

基本としては、やっぱり「健康」と「安全な仕事」がとても大切だと思いましたが、今回の号の表紙には、安全集会の写真を載せてみました。

編集者より

新婚さん

いらしゃい

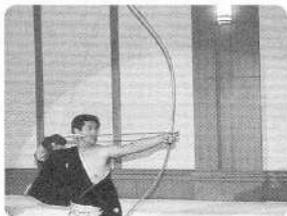


伊藤 鉄哉
由佳子

♥オーストラリアでは、コアラと一緒に記念撮影

11月4日、ホテルメトロポリタン秋田に於いて、結婚式・披露宴を挙げました。その節は、社長を始め、多数の方においでいただきありがとうございました。彼女とは同じ趣味としていた「弓道」を通じて6年前に知り合いました。所属するクラブ・稽古する道場も違う事から会話する機会もありませんでした。彼女が昇段(現在五段)するにつれ、自然と会話も多くなりました。

一昨年、私が県代表として全日本選手権大会に出場したのを機に結婚を意識しました。現在私も錬士六段、弓道も仕事も頑張っていると思います。



♥披露宴では「弓」をひきました。これはその時の写真です。

クイズ

平成12年の日本新語・流行語大賞となった言葉はどれでしょう。

- ア. おっはー
- イ. ジコチュー (ジコ虫)
- ウ. パラパラ

50 010 0342

男鹿市脇本脇本字向山186
株式会社
加藤組 クイズ係行

クイズの答え

住所
氏名
年齢
性別
TEL

※正解者の中から抽選により3名様に豪華記念品を進呈。1家族1枚に限り。参加賞もあります。
(締切/平成13年1月20日)